

# 皆さまのご協力 ようやくここまでたどり着きました。

## 佐野れいじ幼き頃の夢の実現へ向けて

営団地下鉄丸の内線が全線開通したのが昭和37年、東京オリンピック開催の2年前でした。

東京では銀座線が1番古く、丸の内線は2番目。当時は地下鉄を通すことに主眼が置かれ、お年寄りや体の不自由な方への配慮に欠けていました。

まだ子供だった佐野れいじは新しい地下鉄開通に喜ぶ一方、地下の急な階段をやっとの思いで上り下りする人の姿に心を痛めたものでした。デパートにあるようなエレベーターやエスカレーターをここに付けたらどんなに便利だろう、きっといつの日か実現させてみせる



開通当時と変わらない中野新橋駅

子供心にそう誓いました。やがて地下鉄新路線が次々とでき(現在都内を走る地下鉄は14路線)、当然のようにバリアフリー化されている駅を見るにつけ、少年のころの夢は実現に向けてますます強くなりました。自分が育った街に何か貢献できるとすれば、地元の駅のバリアフリー化がまず第一だ、住民の利便性が増せば街は一層活性化し発展するのではないかと。

こうして佐野れいじは、帝都高速度交通営団(当時)の上野本社を訪れ、中野新橋・新中野・中野富士見町・中野坂上各駅のバリアフリー化を要請しました。

## 丸の内線バリアフリー化へ「佐野れいじの足跡」

- 平成14年7月 帝都高速度交通営団(当時)の上野本社を訪れ、中野新橋・新中野・中野富士見町・中野坂上各駅のバリアフリー化を要請。対応した広報課長は、必要性は認めるが予算の関係で順番の問題があると答えたにとどまる。
- 平成15年1月 再度、営団本社へ。中野新橋駅のエスカレーター設置については、改札口から上り下り線に分かれる前の階段で、片側(昇り)のエスカレーター化であれば可能との回答を得る。
- 平成15年4月 区議会議員上位初当選。
- 平成15年6月 定例区議会一般質問で「エスカレーターを設置など、バリアフリー化の早期実現を図るよう、区としても営団に申し入れるべきだ」と区に要請。区はこれに対し、営団は平成25年までに整備を進める10ヵ年計画を進行中と回答。
- 平成15年7月 平成25年では遅すぎると営団本社に3度目の申し入れ。中野新橋駅については、当初エスカレーターだけを検討していたが、駅全体を5階建て(予定)の駅としてリニューアルし、それに合わせて4~5年の間に実施するとの約束をとりつけた。
- 平成16年4月 国土交通省に石原伸晃大臣を訪ね、営団地下鉄立ち会いのもと中野新橋駅の18年設計・20年リニューアルと合わせてエスカレーター設置を確認。
- 平成16年6月 弥生地区町会連合会会議「バリアフリー化意見交換会」の開催。こうして、これまで佐野れいじ個人の「点」としての活動が、町会連合会の「面」としての活動に移り、運動の輪を更に大きく拡げることが出来ました。



石原伸晃国土交通大臣を訪れ、地下鉄バリアフリー化早期実現を申し入れる。

平成16年  
第2回定例議会

## 佐野れいじの一般質問に、区からの回答

- 「中野新橋駅」平成20年の駅舎のリニューアル完成に合わせてエスカレーター設置の予定。
- 「中野富士見町駅」エレベーター設置を目指して周辺用地を調査している。
- 「新中野駅」平成17年秋の完成を目指し、下りホームにエレベーターの設置が具体化している。同時にトイレ改修も予定している。
- 「中野坂上駅宝仙寺側出入口」エスカレーターを設置済みであるが、宝仙寺側の出口、2方向避難の確保に向け検討しているが、適当な用地が確保できない状況である。

今後とも、地元の皆さまの更なるご協力をお願いいたします。